

Wendeヴェンデ2 未来へのアプローチ

映画上映&トークセッション

いま、各地大きな自然災害がおきています。
精神を麻痺させるような暑すぎる夏、秋になっても気温が下がらず、眠らない熊など、
生物界にも影響を及ぼしている温暖化対策の遅れ、、、
都市で暮らすわたしたちにできること、しなくてはいけない対策はどのようなもののでしょうか。
映画をヒントに個人でできること、地域で行うとよいことを考えてみましょう。
そして、最後には、ローカルSDGsゴール「片平ゴールズ」の宣言を行います。
よりよい暮らし、よりよい地域づくりのためにみんなで宣言しましょう！！

<内容>

- 「Wendeヴェンデ2 未来へのアプローチ」上映
- アフタートーク
- ここからがはじまり！「片平ゴールズ宣言！」

開催日時：令和6年1月27日（土）
13時30分～16時30分

場 所：片平ふれあいセンター
(緑区鳴海町字天白90)

参加費：無料

主催：片平学区連絡協議会 「なごや環境大学」実行委員会

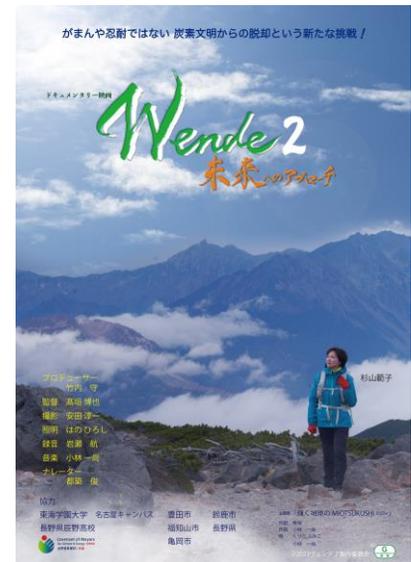
申込・問合せ：片平学区連絡協議会 会長 杉野友昭

☒ t_0313su@yahoo.co.jp TEL&FAX 052-891-0217

「なごや環境大学」実行委員会

☒ jimu@n-kd.jp TEL&FAX 052-223-1223

※参加者のお名前・連絡先をお知らせください



このプロジェクトは片平学区連絡協議会となごや環境大学が協働して実施しています！

プロジェクトの問合せ：なごや環境大学 片平学区ローカルSDGsプロジェクト
名古屋市中区栄1丁目23-13 伏見ライフプラザ13階

「なごや環境大学」実行委員会 事務局内 TEL&FAX 052-223-1223 ☒ jimu@n-kd.jp





オセロの駒がひっくり返っていくみたいは、持続可能でない社会を地域からひっくり返して 持続可能にしていく事をめざしたい

社会の仕組みを変える

今、多くの方が思っている地球温暖化対策は、CO₂の削減です。

2021年、気候変動対策の一つの柱である緩和策として自然エネルギーの取組みを紹介した「ヴェンデ〜光と水のエネルギー〜」を制作しました。

省エネや節電は個人で参加できる大切な温暖化対策ですが、自然エネルギーへの転換は、個人レベルでは取り組みが難しいものです。

しかし、今、温暖化対策の遅れが気象災害の激甚化を招いています。地域によって対策は異なりますが、生活スタイルを変えていくことが重要で、これを適応策と言います。それは様々な分野に及び、地域によって異なる対応が求められています。

WENDEとはドイツ語で大改革の意味。化石燃料から自然エネルギーへと転換するエネルギー革命の意味でも使われる。



緩和策と適応策

CO₂を減らすという緩和策は地球規模で行われますが、適応策は自分自身の健康であったり、食料の問題であったりします。地域の問題であり、それは必ず解決しないとイケない課題です。地域にどんな弱点があるのか、どんな影響が出やすいのか？ 地域で考えて対策が必要になります。だからこそ、適応策は難しくなります。

社会、経済、文化、すべてに気候は関わっています。それが根本的に変わっていくのが気候変動。変わる気候に対して私たちは適応せざるを得ません。農業、健康、防災などの分野、それぞれが別の事ではなく、全部やらなければなりません。すべての分野、すべての地域にあるからこそ、身近な対策でもあります。

身近にある変化を感じ、個々人が地域を知り対策していかなければなりません。

緩和 とは？ **原因を少なく**

2. 緩和 適応

適応 とは？ **影響に備える**

気候変動対策

気候変動による人間社会や自然への影響を回避するためには、温室効果ガスの排出を削減し、気候変動を極力抑制すること（緩和）が重要です。

緩和を最大限実施しても避けられない気候変動の影響に対しては、その被害を軽減し、よりよい生活ができるようにしていくこと（適応）が重要です。



片平学区ローカルSDGsプロジェクトについて

国連では、2030年までに世界を持続可能な社会にしていくために、SDGs(持続可能な開発目標)に取り組んでいます。

日本全体をみると、少子高齢化が進み、地域のつながりも希薄化しつつあります。

そのような状況の中で、すべての住民が一人として取り残されることなく、幸せで充実した暮らしを営んでいくことは、未来にとって重要なことでしょう。

どのような地域になれば、すべての方が生きがいを持ち、住んでよかったと実感できる街になるのか・・・

一緒に考え、街づくりの目標（片平学区版ローカルSDGs）を作り、その実現に向けての取り組みに向かっていきましょう。